

創刊「400号」を祝して

参議院事務総長

ごう はら さとる
郷 原 悟



本誌「立法と調査」が1964年（昭和39年）3月に創刊されてから、本号で400号となりました。この間、調査室において、多くの方々が編集、執筆に従事され、大きな節目を迎えることができました。これまで携わってこられた全ての方々に、心から敬意と祝意を表します。

本誌は、議案の審査や国政調査の補佐機関としての調査室のサービス向上と、調査室間での連携強化、調査員の資質向上などを目的に創刊されました。爾来54年の長きに渡り、本誌は、休むこと無く発刊され、隔月刊から月刊へ、市販化を経て、インターネットで公開されるなど進化を続けております。

また、内容面でも、主要な政策課題や重要法案等の特集によって、わかりやすい解説や問題点の整理を行い国会審議に資するとともに、事後には「論議の焦点」として、政策課題や法案に対する国会での議論をまとめて、記録として残すとともに、将来の議論に資するものとなっています。

さらに、法案の紹介や議論の整理以外にも、調査員それぞれが、常日頃からの調査研究の成果として寄稿した幅広いテーマの論文も掲載しており、多くの調査員が切磋琢磨しながら、独自の視点で調査研究した成果を、議員に提供する貴重な機会となっています。月刊化以降は、掲載本数も増加し、多くのテーマについて、貴重な情報源となってきました。

その時々々の主要な政策課題について、国会の動きや国会での議論という観点から編纂される本誌は、その特別な存在意義をもって、ますます国会での議論に資するとともに、広く関心を持つ国民に対する、国会からの情報発信の役割を果たすことも期待されています。

これからも本誌が、国会内外からの期待に応え、さらに充実したものとなるよう、編集、執筆に当たる調査員の皆さんの一層のご努力をお願いするとともに、調査室のますますの発展を祈念して祝辞といたします。